

上段の丘



一関市立川崎中学校 校園だより
令和7年11月5日 第31号
文責 校長 斎藤 真

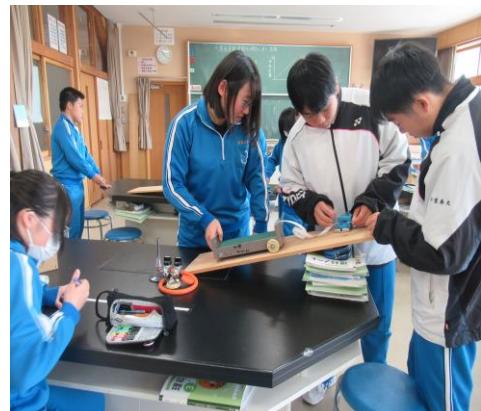
次は地区中文祭 何を伝える？

感動の文化祭の余韻に浸る間もなく、11月13日（木）の地区中学校文化祭に向けて、合唱練習が再開しました。今年度の地区中文祭は、一関・平泉地区のどの中学校も舞台部門（ステージ発表）を行うということで、川崎中学校としては「全校合唱」を発表します。

先日の文化祭では、保護者の皆様、地域の皆様に想いを伝えましたが、今回はさらに一関・平泉地区の一般の方々、そして他校の中学生に聴いてもらうことになります。川中の良さを存分に発揮して素晴らしい歌と想いを伝えてほしいと願っています。



「なないろ」に続く「メリハリ」 授業、頑張ってます



文化祭を終え、あっという間に11月になっていました。そして、2学期の登校日もあと30日となりました。時間はあっという間に過ぎ去っていきます。置いて行かれぬよう、前を向いて、次へ、次へと進んでいかなければなりません。皆さんは様々行事があっても、しっかりと切り替えて取り組んでいますね。授業を見に行く度に、集中力と真剣に楽しんでいる様子が見られ、「メリハリ」があって大変良いと感じています。

この調子で、家庭学習もしっかり頑張りましょうね。家でも「メリハリ」のある生活ができるはずです。

委員会活動は後期へバトンタッチ

10月31日（金）、最後の前期専門委員会と、始まりの後期専門委員会が開かれました。新しいメンバーになり、前期で良かったこと、課題として残ったことをしっかり引き継ぎ、川崎中学校をより盛り立てていく委員会活動を展開してほしいと思います。委員会は日常の地道な活動ですが、学校の“文化”を創る土台となる大切な活動です。前期は素晴らしい活動でした。後期専門委員会にも大いに期待しています。

